

「まちかどミーティング(地域巡回)」概要 (麻生会館)

日時・場所 平成 21 年 9 月 1 日(火) 午後 7 時 ~ 8 時 25 分 麻生会館

市民参加者数 14 人

市側出席者 市長・企画部長・総合政策課長補佐・地域情報課長・同広報広聴係長・同情報化推進係長・二ツ井地域局長・同局市民福祉課長補佐・財政課財政係長

市長市政報告 ・ 水害見舞い

(19:00 ~ 19:32) ・ 総合計画「“わ”のまち能代」の意義
・ 「リサイクルポート」と「県北エコタウン構想」
・ 「農林業政策」と「環日本海視野」
・ この「麻生会館」建設が、今後の地域づくり・まちづくりの方向性

市民との対話 Q 老人クラブだが、二ツ井老連は 20 年度に赤字決算を出し、心労で役員が倒れる等で、「解散」の手前である。様々な経緯があったが結論が出ず、今年の実業もできる状態にない。小さな楽しみも潰されている状態である。

A 老連問題は、ここまでこじれてしまい、市も調停案を出したが、拒否されて現在に至っている。一番の被害者は、個々の会員。会員への影響を最小限にするため、市直営で事業をやることを考えているが…。市から職員が行って説明等もするので、会議等の際は声をかけてほしい。

Q 能代港が「リサイクルポート」に指定されて 3 年。その後の状況を教えてほしい。

A 今年中に 2 億 2 千万円をかけ汚染土壌等をスツクする倉庫を建設し、その新運営会社を立ち上げる段階。軌道に乗れば、来年から運送会社を中心に経済効果が生まれる。

Q「乳幼児健診」や「予防接種」等は、現在は能代「保健センター」でまとめて行われる。乳幼児連れでの移動は大変で、従前と同様、二ツ井地区でできないものか。

A 乳幼児健診の個別健診では小児科医が必要だが、二ツ井地区には専門医はおらず、能代でやらざるをえない状況であった。

検討内容...・「予防接種」について

現在は「ポリオ」以外は、地区内の各医療機関での「個別接種」。二ツ井地区では金田医院・富根診療所が全ての定期予防接種協力医療機関。荒谷医院・関医院は一部対応医療機関。

「ポリオ」は、年 2 回「伝承ホール」で実施している。

・「乳幼児健診」について

二ツ井地区では出生数の減少で、毎月の「健診対象人数」が少なく(18 年度で月 3 人弱)、効率面から実施困難が予想された。

また、健診医は「小児科医」をの要望があったが、当地区には「小児科医」はいず、能代から二ツ井までの移動は、時間・日程等問題があり、困難だった。

今後も出生数増は見込めず、二ツ井地区での再開は難しい。

Q 路線バスだが、下田平線は、土日はなく、平日も午後は 1 時台と 5 時台の 2 本だけで、ほとんど 1~2 人の利用。小型バスでもいいのか。

また、市の通学バスに市民も便乗することはできないか。補助金の関係で目的外使用はできないとの話も聞くが…。

A まず、バスの大きさは、運行会社の所有車両の都合。また、公共交通機関は、県補助廃止も見込まれ、市内全体で、方式等・採算性を含めて来年度見直しを行う。

通学バスの一般利用については、道路運送法での営業行為との整合性等も考えられるが、他からも同様の要望があり、今後可能性も含めて検討したい。

検討内容...スクールバスは、「学校統合補助金」で購入し、「使途」が定められており、一般住民の乗車は「目的外使用」にあたりできない。

市は、「公共交通」について検討を計画しており、全路線の乗降調査を行う。

また、今後、地域住民へのアンケートも計画し、土日の運行や下田平地域内への運行希望等も含めて検討したい。

Q 小繋の裏を流れる川の水門だが、水害の際閉めれば、地域内に溢れる危険がある。国交省にポンプ設置要望は出したが、市からも要望してほしい。

A ポンプ設置の場合、容量もあり、排水が間に合わない場合もある。ポンプ設置も含めて、根本的な対策ができるか国交省に確認したい。